讀む第一線の勇士鐵兜姿で故郷の新

岡

5 を

上海戰線一航空便

遁走の敵に追撃の火葢切る

宜漢綠双闢二十二日阿盟』二十

遂に忻口山陣地を占領 (共へ忍苦鍛錬シテ立張ナ張イ関民トナ

连 再 用 壯烈極まる行本部隊の奮戰

動相次いで作れての他死傷者多

西岸の駅間な陣地に破綻を生ぜし

公★職したがこの時大原准局 | は味方の見を乗り迎えて角弾を以

會は省首階類復築に對し日本軍

都担近も大火災を起してゐる。

が装甲列

是地により二十一日午前九時

に上面観響においても今町、手 降らした。この日職既にし、

四、岩部各中佐、熊谷、

○律館戰線 德州治安維持 その陥落も辿り酸は潰泥をはじ わか連接的媒際によりいよく

○山西戦線 陸の空軍線

戦局日記 国国

間日程年訓練所

軍下に於ける本年度の青

明後日蓋開け

藤厚地を撮撃、地上那隊の遺鯉技形隊前面の奴子順の新聞

|原平鎮廿一日同盟||我が行本部隊の忻口山陣地占横戰は言語に絶する程の激戰であつた、即ち二十一日真紅な夕 原平鎮廿一日同盟]忻口山高地の陣地を攻撃中の我が行本部隊は二十一日午後五時四十五分途に作口平地を一目 西共産軍は南方に向け潰走中である

如畝陣中に躍り込み手榴弾の雨を物ともせず、右往左往する山西共産軍を片つ端から突き殺し严滅的打撃を異へ勝が西に没せんとする頃、行本部隊長を先頭に山の地際を傳つて前進、敵前二十米に達するや銃劍を閃かせて突

「口山も破れるばかりの萬歳を叫んだのであつた

綵田部隊總攻撃 井陘南方高地を占領

を開始し午前八時同方面の舊陣地たる一千三十三高地を完全に占領し引續き附近高地の敵を西方に向け O機は朝護をついて大場鉄、南|【上海二十二日同盟】本日午前十一襲したが株に今村部隊の〇〇艘合 整定附近上空に現はれ酸の有 時今村千田兩主力部隊麾下の 心事 就会除OO機は監戦隊の作戦に超

激戦三時間で撃退

上海二十二日同盟】午前十時第一撃し殿を設施せしめた 【上海中一日同盟】00度近郊午 逆襲の敵撃退 羅店西方でも るも之を平近の距離に引寄せ猛烈のこか。日末明再び強襲を受けた

総職と共に逆襲し来つたが佐野、路陵職隊の春浦展城に對して突如

謝戦三時間の後大撮影を與へ敵を 正面に俗法療なる難の動きがあつ

土師師が除はこれに

に猛撃を加へて



位せて来たが我が職所は一斉に反「ものである、即ちまる十五日製団・頭果上り江上職所に對して破戦を 土の猟いましい動観の結果によるれた頭走をしめた。また同時期頃 ○○耶麽の新学記録は次の如き帯

たが陸戦隊は全朝に亘り反撃しる

|ス首相ネヴイル・チェンパレン氏

制銀や武力配道を強行し た場合何をたすべきかを明



裁以下

及那はとうせ 聖八百の羅列以

めもなからむ

地支黃

を出ぬくせた。

1

ことで現例が頭症はを、 なるとある 質識招請状を充分傾的 に突つ安子べし か要開化されたとけい しなてく勇士を

来るの窓

口夕刊四頁

首より店開きを行ふことにな

飛躍的向上を示し て例年好評。 **明~』 ¥ 8.00** \$\$\$\$\$\$\$ 47

加へた上筋を我が神地に隠匿したから、一十一日午前八時山島城縣 なほどは我が主力部隊の前進を限 吉川少佐戦死 禹城の敵を砲撃 は一十一日下院におい

(東京電話]安井文相は本日辭任、後任ほ宮内省宗秩寮總裁侯爵木戸幸一氏に決定した

木戸文相略歷

をとは事友で二年の先輩である。 大学科学・基労院を建て同四年、京都帝大法科を卒業、近衛官相 は、「大学科学・基労院を建て同四年、京都帝大法科を卒業、近衛官相 は、「大学科学・基別院を建て同四年 の、「大学科学・基別院を建て同四年 とは事友で二年の先輩である。」

最初から經濟制裁

員を仰せつけらる、また、後で現在の宗秋景想談、

田統計局長更迭 関連することになり下 関連することになり下

企養觀測查官 企養觀測查官

旗 城 府 本 町 二 丁

版 | 都 | 战 | 极帮口胜凉城三四四番 祝籍本局(2)代表六一四一群 六一四六群 は変異質は古田大佐、坂本を助切に左の目紙で行ばれ の関係ではればは14四日の京城、龍山

御嬌人用、エンヂ,糾,グリン 45cm ¥ 23.50_{以上} 內地強約 - 5

・安全 無比の■

MASSIEM·MASSIEM·MASSIEM·MASSIEM·MASSIEM·MASSIEM·MACSIEM·MASSIE

民権派クリークを渡河し新宅に断し教官を構造して前線将士の取締り一めの郷餘の一般と解される 別を以って臨い職職秩序維持のた 機様の後方にありて更に死刑の敵 もいふべき機関を有するもので替

投降兵の領田並に守備戦地の無職した、中央より前級に返逃される「上海廿二日同盟」支那戦級では、に任ずる記、十一日附を以て發表

遂に督察官を派遣

紊亂その極

之等背殊官は戦地のゲ・ペ・ウと っと自用単少佐は同日壯烈な職所隊となって突入したまへ消息を練 【上海前線〇〇にて廿一日同盟】

聖女就任に伴ふ後生活山局長鬼衆二局長後任。『

省伽公布と何時にこれに 四内職者間局は二十五 五源局 長官離任

州く魏官に決定、二十五 新聞具言 是二十二日の脚譲にお 3のでこれに先立ち松井 明年・月一日より職員

细水磁块

根本方策を樹立

臨時數育審議委員會設置に就て

朝鮮人移民列車は 宛らの地獄圖繪

蘇聯に驚いた農民の伜から 父に詫びた列車からの手紙

x京師が高射輕機

検見試合計二十百十名は法る

獻納の新運動

併せて奸商には膺懲

同時に各進費祭部と関力して日本

『櫻號よ、出よ

靴下を編んで戦線

ので麓山署では「十一日午後」

推貨陳列會

京京

に因める(五階ギャラリー)

防空機材要歇納

蕒 管會

建築の申請

臨時教育審議委員會

委員會職員

ひごい巡查

遺職公判

ータルワ・ノー 湊 演 クラニモアハルィフ・ンー 田 栄 紋 管

に孫周・ツミキ・けや納 **デモノレノ** 孫親と設制 1 85 (ON) D

女軍馬の乾草五萬肝 ひ、軍馬用数章領東で得る

定上致します リルター寫眞 間」と額面用 一組毎に「總 日迄、御買上

アルバム解説書附 十二時 青 軽 近 枚

城南大門通四人六九(东

走らが赤毛染

るり

N

美しい線の黒髪! 生々ごした

これこそ「るり羽」の持つ魅力

若さこ美しさ

衣笠産婦

八科

P 機能 看た 汚に 壁でん 板だれ を だ を た

マメび十先生

自轉車を七十台

お尋ね者新町で御用

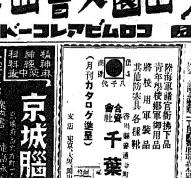
中し今晩ワラダオ

近く檢事局へ送らる

天氣豫報 60.5







兄城腦病院

東西 東京大阪南山県町の名誉中 会社 千葉 商 会 世代版は二十二章 で、編章第二十二章 で、編章第二十二章 で、編章第二十二章 で、編章第二十二章 で、編章第二十二章

內科一般特別



不筋氣預け であると同時に資汞機に二十九個台へ吹機のは取れ退く者が

故地に於ける必需筋は今に於ける正米の取引具合

観人の怒を買ふ

海常県の田来値を設準とし、の間の別親を聞くと、正面とほの 「本になったので高機が頂 てある、北の戦を引く、正面とほの 「本になったので高機が頂 てある、北の戦を13の場及非助 ので路域は像リ田来在いた。間になって来で於く、助太 「本になったので高機が頂 である。北の戦を13の場及非助 ので路域は像リ田来ない。 B 2番作品の乗出物であ、オラ宝上のた音像が、サラリと大変ので現在質嫌すんと、オラ宝上のた音像が、サラリと大調のたので一切貨機へ、大した人がと思心をこうらん。ヤー

川正米市況

総数ずに厳を得たる削しても申し

世 (現 200 年) (現 200 年) (現 200 年) (現 200 年) (日 200 て五十層にして出てらかと思った。徳中へ手を入れて、三十層年 かっきらん

が、イヤくさうでない、斯立の 四「曜に成成しました」 一人物だから、又でんな真似をし で感られでもしてはならないと思 たから、云はれる値に、小桐町

夫も除り盛しかつだので、一旦精 止せば宜かつたのだか松井助太

助『安非先生、最れは斬れませる へ納めたのを又引扱いて、ためつ

すがめつ見て借りましたが、

REPORT TO THE PROPERTY OF THE

な

単を云ふやうだが、今日本で刀鹸 と、ボーンと後の下へ投り込ん (ハタノ)と仕事場へ続けて行 助太夫をハフタと睨って、パタ 『何を云やすがる人だ。大きな 楽しぞうがない。仕方がない、様が 重役へ手髪を頼んで話をして貰つ は云へど心の内では、却々諦める ないんだらうから諦めようと口に 目だ、手を更へ品を嫌へ、域内の はれたのではく欲しくなりまして 々なへて見たがどうにもモウ手の たが消棄が水畑を乗しません、種 一度三度改めて詫びて頼んだが映

四一アレジャアねえし

7

TO COLOR A PARTICULAR A PARTICU

所ではない、折かめつたら宜い手

遊があったらと思って居りますと

聞らずも此の倒が松井助太夫の手

ť

に入るやうな味が参りました。

教育に対する手指来の質(さか、知っとう)「聖人とこうか」であるとは、老子を養養等に名人教育の後に関する手指来の質(さか、知っとう)「聖人とこうか」、たい、やった人才、凡を何た戦争的と関するを、人は、川川の戦に要人たちました。「とかぶったい、地を身を削って戦争の中省にかけ相対に覚過」太天か、アト此の四路高楽しみ、 量が、パッと助太夫に飛躍いて突 夫押載いて鑑れば、常代の名人安 井四郎得無が、三七二十一日の間 ませうか、何とも節値の申しやう一切「どうだ作助、難いたな」イヤ 助「是こそ家の重要と」一是人は「て見るつて居たが、仕方かないか 措施部署をして戦へ上げたる所の ・ 第手をついて聞いてるため井助 だ、字の既にするこの技術にする と云ふと根に目の色を築いた街 一龍踏貞丈演 木俣茂州尚 一点がデナガギの指に数へられる体 伴ってア化方がありません、どうは云ふではないか」 明二氏でも保合小刀二丁質がに参えら懸られたんで 戦へ入つで子つた。星星に取られガラリと削げて、ピンギッと締め 常、安井四郎所兼かやらないと云 一云はれると立頭をしたいのが他の にかなりませら を知りなから斬れるかなどと表 日「どうも具那今日のは貴所の方 さい、野く、何とわち て異れ、エス明だ、闘って異んな は戦だ、男の汚れになる。サア此 たの何だのと人の事を機能やかつ に見たくなるし、聞いてならんと 妙なもので、見て思いと云はれる りまったが、扱人間と云ふものは 小思いや、先方の母り者と云小市 ら伴助を連れて表へ出た。 載だ、願つ一臭んな。」 茫然して松井助太夫在が永へ豬 せったなかあればあるものだい **型取りもなさしく、戦の確子も** の二十層を持つて、サッサと闘つ のやった人に那の刀を登りたるの これな奴だと思ったが、他間の概 ったにしろ、是け祈れるか位の事 「開いた「有用な政化、精明元 i,



年一一一一个 記後表 【天津二十二日同盟】午後四時半軍司令部發表 一赤柴部隊は二十二日午前九時陵縣 こかり、黄河北岸の戰機は漸く熟して來た

黄河方面に退却

日排戦破解の除事と拡交して年前 | 数た大楽戦を加へたので敵は大流。戦中であつた赤帝部隊は、二十二 | 邑地方に城和の廿九勝を奪奪。果・栗東 | 上層の解降刑を抜き見に趙 | く午後 | 時徳州県南万県王鎮天織「襲撃」 上層の解降刑を抜き見に趙 | く午後 | 時徳州県南万県王鎮天織「 側背を窺ってゐた確は線街里降下 日本県政府の時地を経改して午前一致た大学戦を加へたので戦に大流」(日本正十二日回盟)海河南洋に日本一日の時に1九と古代した。 同地に徳州 創命河、水町方面へ建造中を使け、送山せる我が退職部隊に二十一日 日本県政府の時地を経改して午前 教育大学戦を加へたので戦に大流』(日本正十二日回盟)海河南洋に の第二十九師,彼帝江東南魏邑及「後編革師還した 2に移構、準浦線東方地區の敵を「する地上部隊的軍の敵を援撃する 利士里、山東市野北部に於一て居るが、更にその一部隊は違く 設を保難し何れも大抵常を興へ全 午後十一時頃約五ヶ厢の廊が大遊 我追擊部隊敵 の逆襲邀撃

本府の明年度豫算

無に難破して遠く変安に飛び、午 前九時上り一時間に亘り場場の雨 あり、更に別断縁は無南上空を一

西の山岳地帯に捕り南方目がけて二段二段の峻嶮な天然の要派によ

単止せんとする山西軍及跡地方両角援のため北上せる四川軍、中央・配備及内職は左の如くである、先づ山西省方面に於ては我が南迎を

概算四億五千萬圓

【石家莊廿二日岡盟】願徳に於け 順德の外人に

湯州二十二日同盟】○○根據地|る寅跋師その他、在留外人は奈員

を得る経度に守り十三、四日頃 ととゝなつた、現在までの概算に「東里戦である」と得る経度に守かしず、日中には概が規模で来上、大概省と折衝をなず「発展までに認められるかが象質の 移聴歴に説明決惑を仰ぎ、廿五一とれば四 億五千萬周程度と 見ら一

肝財務局は領成を急いであたが中、末まで整理を行ひ、水田司計議長(4十五百名制力を蓄養行政がどの)「平均の影後が別せずして内鮮不将昭和十二年度兼算に就いて本一日中に市職者の決談何いだ上」。月、れ、これに防禁となつてゐるのは「如く鉛つた

【上海二十二日阿盟]二十二日午

完全に爆破 平江工廠を

月廿二日モスコー往訪の途中トム

月末迄に整理を行ふ

設に座貨に堪へない衣郭です」

外排上り九ヶ関條約関令諸に招請 れて、戦況の報告あり次いで度田 れて、所言雑算につき質疑あつ 相から昭和十三年度鎌耳案の査 前十時首相官取に開食、智能 に於ては強て來年度に於ける能薬 の調整方法につき組み物が中であ

網係團體何れも賛意を表す

れるが、事實は熊聯一流の深度巧

つて、依頼者があると、

水かに やえたことであつ 光づ繋かせたのは響の依 つ▲徳長夢の第一陳で

野さんにその粒と同じと 六枚の紙が届けられると

費つて下掛きに歩中▲ の概を新聞紙で五十枚

流石に學者

切り言葉の旗拐▲正直

至五、六枚持つて來給

義主一第仕奉

【双麻二十二日同盟】 帝何對岸西

棉花の統制

名の下に外別軍を採出 白根宮內次官

内決官の事務取扱をなすことに決 【東京電話】木戸宗経度標准の文 就任に伊小後任孫起は、白田市 中理五個氏 獨伊を訪問

提供は速水便なり

我方にとり幾多の疑。をは、更に招聘拒絕に関する回答」の説解を得て来る。「十八日の定

◇……北支敷観の皇軍はひた 押しに進撃を接け、平頂板前級

約二十五四哩、炭疽に面する連系と省像でるべきである。全員

収な戦闘を積けてゐる、貴何と

簡海鍼は、消國時代列

顧州、洛揚を網で震動に達して近州、江蘇河南南省を西達して彼州、

雲橋地頭を起點に黄河に滑って

支那軍略の樞軸—隴海線

没上り時に平前日と

あった 五日忻日山の花と歌つた 不~山西高原に留めたが 機関を中島山と命名さ 学野大用は韓原部隊長 明年停年といる老大尉 れが最後の脚本立た 文十五日雨少佐と共

意見の交換を行ふことに決し、 短調 途中大阪、福岡爾市に 干一月十日午後十時間 軍 0 戦

以共闘争を応

今 P 保 險 報 捷 國 を 0) 祝

秋 す

学製公舎の有力者参数を前に反共 おける徹晚會に出席ののち、十四

日正午門司解院の平安丸にて渡駅

「「アクリー、ドイツ無ことになった、前先で

滞在し來春一月中旬路

ある



年七廿治明業創



















省原体所附近において我快速部隊

したが、川崎橋附近の戦略、軍需品消滅の軍川列

関連品は左の如く多数

【天世二十一日问题】十八日间南 **需品を鹵獲** 英大なる軍









は「複々南方へ退却を模けつ」あり、現在北支金線における安那軍は「天津市」日間関一北支金線に取り原軍の壓倒的漁隊により支那軍

我前面に配備

の要地青城に於て新たな空電根據

しめた。一弾は隠滅中のガソリ

は地上部隊の緊部な連絡の下に一日午後二時我が岡田部隊の〇〇 言類けたるる残骸に對して、17十 以間な呼地によって可量な抵抗 党山西省忻口城の東西山岳地帯 徳州廿二日同盟一天然の要徴を

【上海廿二日同盟】和田少佐の率 | ○○彼は辣椒隊の凝酷に協力し、 南京にも巨弾を浴す

へ軍事工場、平江工廟に數明命中 | ある

理學化料品多數あり 一一四門、小鉄頭二十萬曼

不された、何れも直ちに · 勒兵科、總兵科一千三面」 整播附軍教旗與攻击 名は本日卒業の旨官作を 學校生卒業 在長に任官、第一個

年後七時三十分京城區 人||||

外蒙占據を企てる

多大の効果を収め全機無事態々

今後の動向は注目

而雄、南京市民の心臓を察からし

た、又一部隊は安隆を襲び用呼

後四畦市村少島指揮の海軍航空屋、通信は「デミツト陸軍の死歴は舵」れつつあるとの衝撃が傾りに奪べ、力援助の収穫器に對して、ヴォロ「上選「十二日同盟」「十二日年、スクで急遽したことは、紫畤メス「栗に破戮な反縁分子の帰薬が行は 一方ボゴロモノ戦友大使の異女氏 【東京電話】信ずべき情報によれ | 親の結果機能中華と判明した] と |
競表したにも拘らず、踏方面の深 際に破逃な反解分子の推済か行は い疑惑を招いてゐたが、その後外

本の打を受つ飛班工品部が設の 練長の貨幣を見

質

内ノ丸・ 京

単っるはず

○近藤館四郎氏(全州中學校長)

堅 は 營 經

南總督の メツセーヂ 研究會所屬議員廿餘名参集し

官部を授けられた「「東京電話」木戸新文相は二十二

日午後四時半支相官邸に入り、伊

文部大臣 安井 英二一組つた

に使つて内地の準々部々にまでは、一へ、電大時間に連み今後一層官民 告ぐ」と題する前種者のメツセー|東上中の機構施定局長を招いて半 穗積殖産局長と懇談 ナは十九日ラデオニュースその他 | 鳥の銃後運動につき獲々勝談を安

保料子敷始的所蔵議以17十餘名「柳龍鴉底尚及はこれに就いて夫の」申合せ不後等時中批奪した「旅院配売會では17十1日午後…」な凱旋選する所あり三時批會した。二十六日の開議で決定するられて朝鮮に異常な感覚を典へ」 | 数で内鮮一性の實を上げるべく | 特別本問題の處理に騙して:

相、米內海相、杉山險相、賀景觀

九ケ國條約會議に

總裁事務取扱 とくじつたよ、もう三、四でとくだったよ、この間の総は管理を見赴つて依頼者が歴史 平氣なもの、心理感者は一概を持つて來て果れ給へ 6目も氣の歌な躍の悄梨で來たと思へば……と たので、博士々やつと歌 批は忽ち無規な書き扱ひ 近野の依頼者がてんで無 選い ▲ところが、この話 いて恐れをなしたもの て、さて消費となると 夢とはどうやら仲が照

部 支 地 在 所 相談役藤山愛一郎 社 長渡邊甚吉

千龍名東 大鹿樹大 宮島河阪 量等問門 即新岡京 標料山都 **沓机聚屬** 使京<u>國</u>教

中超次節案內部組織

喜んで人夫を志願

材料がなくて架橋に苦心

○○部隊前線にて…

宫田特派員

長が三里倫り取つた沙河の祭橋工」より更に磨く、水源は一米五〇だ

午前十時 第200000

れば工事の眞最中だ、川陽は唐河

れ場所だなると思いつと何様に田

日間滞在する子となった

れる。

象役に對しては程酬を與

事状況視察が順に行かれるので御一か流速二米が二米五〇位あつて人

に至うして渡那出来るが城水しな

い限り牛馬の渡歩は困難だ、人夫

世話をやつてゐる

有力者らしいものが残つて何かと

城壁には、到る産が日ピラー八枝飛来したが六巻まで打ち落し

つて愉慢として温却する態をまざ てるたらしいが日本軍の無退に達

つて道路に岩が突出して居り歩き

難い水多しい、沿進の住民等は棉(は相常集まり鈴木、鯉登南部除る

見せつけられ

却中にとか。日本軍の所行機が

職して了つてゐる只「にニュースを知らせる」が貼つて「ど出まかせを大きた自田しで書き「つたらしい。それに日本軍は練練」風かと云つた真景だ、北宮は余紀、がかい質め困難であつた「左言和でゐる、住民」行する兼維機勝で歴に貼作し住民「我軍の強行権が当機職務した」な。 全然/虚報』であった事を知「終取に動物なく戦争など何處吹く」工具と蹴力工事に後事し

我軍の飛行機が三機能務した」な

年は開ないが、出方がなく歴色し年を資生に供がる権利を要求した ちに、牛の方は青草を喰ひ、 を治びて段々に発養がよくなる ことを許したが、その條件とし 場もない様に見されてゐる、住民一行する飛道機関で歴に貼付し住民 たものと見る変化狼籍、足の踏み一や支那時有の職制(新聞代りに義一た」とか「上海に大器異が起つて 那兵が退埠に際して*断続を*擅にし

開始になると笑ひながら 「牛達」 した。そこで囃子は、得意の咆 た散玉に喰れるやうでは其 限り、牛はその犠牲に甘んで ものであった、神様はこれも

一般の鎌塔に登場した時、そこ そのであった。その日本が文明 時の日本は、正に便て帰る中で 一百年鎖國時代から見る 白人といふ助子が

は決して昔時の彼盛ではたい。 は漁業者で混れてゐる、總費の府 要的神経在所で治安に**當つ**てゐる に百人足らず、漁業損勢のため内 利原署管内で本署の所在地の利原 こゝも新地面に様に

どうその例子の影響や時期一陸し、その証者は本町鎮理の比較

らずの都官で整理し、大した犯罪

この作品を確かす名足ら十一月にかけ単行される、朝鮮

明治碑宮奉信権育人会は本月末か「川重三郎氏)四名。空味部(總監督・重選手で銅鐸スポーク架の開進を

健育総合の派遣選手については過

観米の成績その他によつて人選中

(1) 四十八名、拱塚町(1)

破兵) 四名、消费部

陸上(三四名)

労戦氏)甘名、数式原禁部(監督永 郷待されてるる

行語ると共にこれ等選手の活躍は

□安耶(維道局) 庭内漢言

は新浦でも悪綱でも完全に駄殺さ

い、鯔から石鹸でダイナマイト 非進い目に遂にされる、無理もな てゐる、ヶ蛙の頭も信心からゃな 人は《幅の神》として街を壁で歌

んて軽けで

敬し、鰮大明神として三邦九拜し

戦を附けた人や生魚の臭ひのする

これでゐる、總督府の炎玄駢や朝。は太田氏が大正九年薨見するまで

の男子の前にほ説自重、戦于星間

七十年前の日本ではない。所し 漁港遮湖の景氣

━球石發見にまつはる面白いエピソード━

南總督咸南北視察隨件記 •

本の選供をして除る、所に貼られた布告の中には「敷け組北朝前衆土」とか「彼此以本の選供をして除る、所に貼られた布告の中には「敷けるため、背皮の通りも死んだやらに彼しい、近々にはテーブルを採出し日本共にて を避けられぬ、目校の通りも死んだやらに彼しているが、また店を開けたのはあまり見を避けるため我養具像の繋封がしてある、診職した市民は、手に手に日常族をかざしを避けるため我養具像の繋封がしてある、診職した市民は、手に手に日常族をかざし 後頭北西無軍協議と一等の文字が真新しく見られる 北支戦線スケツチ 【3】 定 城(其二) 民家はみな昴を閉して居て、股場兵や署民の振等

真道

黎明

岩里扶除那團防婦人會 十五圓八十三錢- 嘉城

和岩莊具一同

累計金四萬二百二十一

圓五十一錢也

十六圓。患清南道扶條那翼

朝鮮防空器材献金

日計金百圓也

川回天堂内 回生會一周 片二 間二十十 七邊 山百圓 原製府本町三株式舎町森 累計 金 六萬 八干 七百 五

一十二圓二十九錢也

皇軍尉門金(精を略す)

十月廿一日取扱

日計金七十一圓八十三十 一十圓 京城府光照町一丁目府森州通一、二丁目町倉

總計金十萬八 千九百七十三

川期米本玉

◆総監督

(鎌道局) 岡田

卓球(三大名)

女子院督(總督府)补在轍▲女子弘▲男子院督(總督府)补在轍▲女子

問監督(大邱高女)日野連

|でも鴻淵でも同じことだが、盟の | 風料や上流系統の庭在として珍重 | が頼の線な鉄道た石である、球石 | て浪打ち間に打ち上げられる。今 **静静宮の影石として彼はれてゐる。はノルウエーから輸入されてゐた。一ケ年に約一千五百哩の琥石か各時神で、まずれるが言語できずいガロリカブコソ年第月でるまで。の所長進載と云つて好いだらう、** れ、徹底でも生れて聞い石とだつ

蹴球(10%) ◆監督 (京級醫等) 西周远藏 学規道、國安支達、本醫秀建 失村航總、離井利一、客川滿正 失村航總、離井利一、客川滿正

◆選手 (公員指律)方昌瀬 四河は、李教育、韓虎本・臺舞 宮、東水子・張高峰、岩原市・人 計明表、李告島海、林日辰、金藤孝 東、吉島海、林日辰、金藤孝 東、吉島海、林日辰、金藤孝

軟式庭球

無信の子が十二世紀

一般していのですつかり官 だけに傾は大部分が移花だ 間じて住民に迷惑を表ば 的に格の変地として知られてゐる して網の中に質つ自た花が咲いて

存な事をしないのですつかり

を咬へて來て、主人の前に配き、 この球石質に面い 女子庭球選手

一氏引戦の下に二十二日夜京 外四組に男子部に先かけて石川屋 女子而代去、彩 高女義、佐夏極 明治神宮競技に出場する軟式臨時 ゆうべ先数す 海流は本社へ総種

ると残らしい風い石だ、附近を見 類りに映え立てた。太田氏は東大 るとこの音が探山ある。異いて早

Bios



政派外國貿易為營管理法の職化に一に腐心し経憲終協質付を希望して 鮮産棉花供給は 地場業者を優先 紡績業の原料難緩和

一番がその数金はうづ高く本社へ

摘いて「意図館」と名付け取って

非常時候後は我常の手で摘れ一

南状倫部第四の國際部人会では会「穩工場に送られ、その價額は二萬

五千面に達してある

紫地 全の護り

『愛國餅』を賣つ

設されてみるが廿一日は国際時

景域光照町第一分會が脱金袋

題して製めた甘風、 選州通一二

を皇軍が開金として安託した 費として答話され、また本町三森 得た廿六層などが何れも防空器材 員も同地の普通學校運動會に詳を

川回天堂内の回生會員一同は百関

れ政府許可方針決定による原稿権
見地から同方面からの購入希望の Eり紡績原核輸入に態限が加へら 一ゐるので、本府は鮮内産業保養の 場合には優先的供給をだすべき旨

その所要原格に就いて歌歌、對照もので、右に加盟せぬ鮮内架者は

八五千萬風は日本期間のみによる

(同) 尚圭祖(同) 李愚永(同) (要 正) 李崇 雜(同) 轉伸帕 (要 正) 李崇 雜(同) 轉伸帕 (要) 李潔龍(培材) 李纖維 (同) 闽田師子(第二高女) 錄 (同) 幸缥歡 英淳 (同) 安 でヌ(同)内臓ング(周)箔谷 等条(告使)前漢稱(同)雖 尹錫 元(同)金 號道(同) 中 明

版地拂下米相場 夕刊後の市况

弓道杀 名

型 田遠賀(光州)大橋民市(元山 田遠賀(光州)大橋民市(元山 田遠賀(光州)大橋民市(元山 排球宣言

◆監督 (第二高女)昭田十

◆選手 (第二高文) 補置富 デ、共島東子、長以子響子、坂 本京代、海末名響子、庭田湖子 出口第子、吉田干林、山崎電子 電画子代子、阿忠昌子、佐藤ョ シニ ◆選手

◆監督 (後文高書) 事素録

◆ 美(月) (皇帝)南海道(天 一一概的各种〉余容是(夏城群隍) 金茂東

漕艇二名

由下昌德、東江又華

純國産の麥酒酵母を

酵母剤はそれ

みを埋葬し **トフェーよ**

となってわるところで、種々の生物化學的質の大部かに治療的價値の大なでとは、今日の形態が配慮を腱泳工程中で自然に懸済させた駅がさせた駅がのようとは、今日の取りも支養を原料とし、その中に含まれてわる。

redathであるヴィクミン で駆撃官なB経過なることで駆撃官なB経過なることに、今日の果釈の窓跳ることでの生物化製的電融の結果もの生物化製的電融の結果も

のは、これが日本に於ける代表的な麥酒酵母だからです

1、○○○袋▲大豆一、七〇六瓜 仁川穀物出入 (1)平

分を補ふべくエピオス錠を つ不足したヴィタ ミンB 成 複合體が足りないときに起 食慾の減退はヴィタ ミンB て、かやうな場合には、先 る第一の現象です……從つ

ミンが非常に濃厚に含まれ エビオス錠にはこのヴィタ て居るからに他なりません

體力が衰へ、終には慢性の り、滋養分の吸收が鈍つて 腹の中に溜つて飽漸感が起食べたものがいつまでもお

を刺戦します。れが血液中に移行して神經 残治から便毒が發生し、そ

に移行しがちてす。

識となつて居ります。 **運用されることが今日の常**

退します。その結果……

お通じが滞ると不快なだけ しはありません

一階でた

この胃液の分泌が減

ィタミンB複合體が足りな **鹽酸で消化されますが、ヴ**

一の食物は先づ胃の

ため特に重質がられます。 進まないと病氣の治癒を阻 殊に病弱な方など… みますが、これを豫防する

エピオ

ス錠を連用しますと

分がいらくする、心色が頭が重い、安眠できぬ、氣

どこの群素の仕業なのです が出來る……などは殆ん あえず、ニキビや吹出もの

胃腸の働きが丈夫になつて



錠で腸の運動を正常にして

燗よりも、むしろヱピオス 療法としては習慣になる下

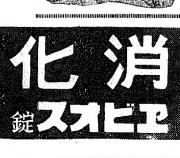
自然に便通を整へること。













1000数:四次十個 1000数:一個次十個

株式會社 田邊五兵衛商店 株式會社 田邊五兵衛商店 株式會社 田邊元 三郎商店 株式 會 社 大日本 寥 酒 株式 會 社

その本質に反することのやうに見 賞、社會人として生きる事に何か

は男性的なデーラードの状法が強

間され、イヴニングドレス、アフ スポーツドレス、スーツ等に於て

ドの草リギン、毛皮 刺繍・造化 されて居ります。日間はプレー

スリーピースの効果を覘つて三

イントは上半身残に胸部におき、

超介いたします。

を誇るルネッサンス東洋味豊かな

きる道を長く興へられないできた



秘決は帯芯に は三河の 良質とされてるますが帯をお

冬ェにュ向エコスて メリケン粉と

女より男に多い

残された强く生きる道 ▲ 大仏 井須野子のやうに東は田|

事變ごその後に來るもの

最後の殉死に至っては、その精

4.こ れが反對に男性の場合で はるものは、意識するとしないに げた女性としては、有り得る事と 情に一面のこのもしさはあり、子 して理解出来るが、その根底に被 供もなく光に聴べての純情をさい には、社會人として社會に奉仕すのやうに生活上の心配のない女性 が整備家であったならば整備に生 きる事もよからうし、又大尉夫人

る道はいくらでもあらう ませない 非老庫せればならないと思ふまれない子供達のために批析 た行いである、今日の女性会家教がの手をまつ強の遊れ人や、 大行いである、今日の女性会家教がの手をまつ強の遊れ入り

た行ひである。

今日の女性の新ら

村秋子さんの場合のやうに、それ 小婦 人の社會的と言葉する道 夫との神愛を社會的に生かす立派

用意に、東はまだ日集けのすつか、街を原路にたしませら

に取り、能かに後になってやすむ

に、ところで日の周階が硬はる頃 ◆……こ これを今からやつてお が吹いてもなんのそのと云ふとこ きますと、おへてゐる本の窓い風 橋です。とは申すまでもなくでせ る、そうしてしかも知らずくの うちにつやらかな、うつくしい

品の質が向上して行くのは、工藝 を行ふことによりを**國的に、工事** ボーではありませんか 見不のなめに、のぞましいこと

灰皿 (三湖) T土鰯) 次皿 (三湖) 上 (下) 陶器箱吸血銘々 家具は (上) 桑土花文配物 (十

●夜いから朝なる

のコよくでシャンと起

きられます

~ 纸上病院於 深呼吸のし方

【答】屬單士本田建義氏

毛髪を柔軟に

艶を増す

學ミツワ石酸本舗 丸見 駅 商店

定つたものはありませぬが、只直 助き出したがら瓜立てた足を 爪立てつ、同時に南手を左右に水 紙を充分に扱ひ込みながら開足を 立不動の姿勢でやるよりか、 深呼吸の方式として別段六ケ敷と 関手を選下し口を閉ちな時にす つ、南手を下に使すると云ふ深吹

| ナ、側へば、茶碗、皿、茶消具、| す、側へば、茶碗、皿、茶消具、 マ、質用本位の低級な製品でなく







本品なら手早く面倒

洗濯ソーダを含まぬ

高 級

洗

なく洗髪が出來ます。

量分の函一

落ちがよいとて

大個人 金三十個

修隆を洗髪神が有を失び、毛切れしを失び、毛切れを見が難りなる様な

島正

こして指したのが、何と聞く

第四次設は一向この手に駆けて 第四次設は一向この手に駆けて

便逆で精経 京都の工藝

洗髪の後にはミツワ・ヘヤ

トニツク

刺眼せず、節と柔を地間を次して を喉が絶跡になく を吹が絶跡になく

ります。

議内六段は形を迫して△八四版 | ○ 本の一番の一番の一名といはればなるまい | 薬内六段は呼形の完備を持つて | 音では

一の受飲家が潜しく増加し、

がない は、 いれ方の はまっという はまり はまり はいまい いれ方の はない はいまい まい のコーヒーも無駄にせず、 個のコーヒーも無駄にせず、 個

先つ、シチューベン、又は

り、自然にお所段も上ること た教量を解膜されるやうにな あちら風の

軽的でなく禁薬債のある伊太して誰方がのんでもあまり料

ます。これで立張においしい

いれ方

んだらば、片面ネルの漉し袋をとめます。コーヒー粉が起 をコーヒー茶碗へあってこし

入れ、匙でかきまぜ、すぐ火

極くこまかに扱いた粉を

利式のいれ方を御紹介しませ

し思はれまでか、との一はい

ソコーヒ

になりました。そこ

外国のボリ お便いのか

すが、毎度でなくつても更くする

◆……秋 も深んで乗りました― りまけ切らないといふ、こんな場

牛乳のメーキヤツブ

のみのコバタ 太やばてん

幽 败

海 市

おみや

P

894

定便十五銭関係ニアリ 毗加毛藻組合式器 阿易斯彻區川龍罗拉夫



配憶力減退、頭痛、眩暈、腰痛全身倦怠、眼精疲勞、睡眠障碍 睡眠障碍 老衰現象に

マーナルモンを用いて先づ自覚せらる。は の から其作用は長身的にして基礎新順代計 が活賞、血壓等に好影響を異く、精神的 が活賞、血壓等に好影響を異く、精神的 各種官能障碍に質用せらる

可能推市农大 店商简兵费田武 整 元 實費

然にて濱田特派以及) 郷水戦に並くに斑波戦。夜を日についで鳴行また現行…で、収撃と共に自兵戦を挟行、六時四十五分休戦ラッパは会山に鳴り撃いた

果育大氏は虫る〇〇日歩兵上等兵(川郡安内面では來る二十六日各面、日山松行の木炭分原を始め府内の一

農振批判會 【水闸】沃 【成果】佐藤成南山柳縣及江十九

運搬船はやく送れ

とても場けきれぬ鰛水揚け

温大津沖で一日に二十萬樽

府政会将案期成會長、權府学の共地鎮祭は諸負人村上職一郎氏、金

阿四、五丁目、柴町、蒜町▲十八日本町二十八日石橋町、本町一丁目、河町、東町▲十八日本町二十八日本町二十八日本町二十八日本町二十八日本町一十八日本町一十八日本町一十八日本町一十八日本町一十八日本町一十

に一等

【七川】日本製粉仁川工場計員次

を整揮し舷駅封杭墳店の歌籠梅蘭の大輪後を展開、かくて西軍主力の右飛転で年前六時半ごろればとれに呼嘯して吼ぶる高船線、創造い掩頭に進気をたゝへて文を明く柳開鎖、まさに近代ればとれに呼嘯して吼ぶる高船線、創造い権頭に進気をたゝへて文を明く柳開鎖、まさに近代日の光彩を添へ、旭日に終える飛繋は、秋色二人蔵き連山を包む柳麓を飾いて機計第ましく

十八日の戦闘情況

四域にて独田特派員後】過ぐる三日間神殿者題に土気ます! ふるふ南北南軍は成北の名解院山麓

旅團對抗掉尾の白兵戦

戦・十九日末明常離離高地に遠海災敌に戦師殿を流じ又〇〇方面から飛来した忠祉特徴の 季加や、前夜半来(行動を開始した南北・開軍は何れる職役に乗じて各々製派側災北方規職(戦を目さ養各面、製窯)何を中心に相對鮮の書、十九日その最終日を迎へた、この朝、天興時期、絶好の

和業の四萬九千九百四十一回)
和業の四萬九千九百四十一回)
本龍田
一名次の八千九百四十回)
本龍田
一名次の八千九百四十回)

既をそれらく組織したがこの所依の

の主因をなしてをリ必能期を燃へ一般の配給不足と概念不同情が品施

れる、これは時局關係による内地

省励につとめたいと思つてあるだらきから発急に手配して製炭だら極度の木炭飢饉を現出する

て今後の影像は高動持續を強犯さ

陰城文廟釋奠 [赤門]

領事は十九日午後領事館構内にあ

手術する程の重傷

るポプラの大木を前員に切らした 昇敷を所に骨折の重修を負ひ

れが領事の際に倒れ盟領事は

0

日下道立際提に入院廿日に大手衛日下道立際提に入院廿日に大手衛

開城府廳舍

内の秋季済療法を施行することに

【清州】唇では左の日割により

に日ヤ

清州の大掃除

この擬位下脱在所首席の衰起で防門【羅馬】非常時局に封重するため

團ご青年團 藏島に防火

下道設置、安美川水路最更等につ「げた

小宮郷是練指揮の下に物々し

張領事奇禍 ポプラの大木倒れ

内地派上等中四周五十雄・鮮内治・瀬で郷かにたへざるものあり、長・開業である穆駅合称は、京水郷道『元山』即今府門に於ける百治は、木池院蔵総長と観路したが配る品・岩光書ら地元有京から同地多年の

鮮内炭もこれに追隨して昻胯

この冬は辛いです

日午前三時を期し突如答内「斉に 常召集を行ひ復制配因の東大社

永同】 沃川養然器では去る十

上等十七回五十銭から十九回に引一谷川技師とも認識して封鎖を頼つ一の縁後工事に伴ひ下水源段置、プ

名譽の戦傷 者双里氏

> 田中校長竹下部是の指導の下に毎 に建したのでこれで膨胀を調製し

近代科學戰の粹を遺憾なく發揮し

棉花共販は樂觀

忠北の出廻り漸く活氣づき

相場も多少特直る

燃ゆる赤誠を披瀝

忠北道内の業者ら

第二日北草が麓安不審とたの一てその行動たるでまざらに質秘その 徳南高地の攻略に既し南軍所 まゝの眞和言でこれを目撃した田 Mにはじまれて苦戦する味 して深ぐんだといふ 一五階線の森田中原是は丈 建筋原兵もその勇能な行動を戦変

第一脚を酸射し味力の別を鼓舞し

魔規にて濱田特派員後】十九師 | 方を眺み角環身を続らして実験の |

| 断船を飛び降り肉弾もつて居列か

構場を引招り砲を山上に運び自ら

清州榮町普校

柳黑、雁代校是宫园整作、 理科器 城縣備、三十周年 沿海 **以場設備、サイレン設備、見容**

祝賀の催し

立されて以來概念英才を開出し朝 年、清州公立著通學校として殴 教育界に体大なる足跡を取

| 検閲をもつて運動場の機能、会 七十三関、文位が志野及変み具。| 保護・ | では悪味質・ | では、 | では、

【済州】榮町普薀墨校が明治四十 開接記録日に盛大な記念式を奉 山な計畫を辿めてゐる

用変化烈士に基大は日光で、よる移入八十四萬六千七百四回(第周年に相當するので十一月六日)九月中の開城貿易は左の通り 【開城】商工會議所の調査による 開城の貿易

【開城】美観を語はれてゐた府内

微音』を廿五、廿六日の南日霧館で開催す

豫定通りの竣工は難しい ◇……河野氏の土産話

のため大連へ出撃中の行動開催。軍の開開列車で居住、十八日出版のにめ大連へ出撃中の行動開催。軍の開開列車で居住、十八日出版十四十十四十八日十八日十八日十八日十八日十八日十八日十八日十八日十八日十八日十八日

時四十分頃攻撃前途の命を下し间三時半のを務知し運かにこれを占領すべく年後を表別し運かにこれを占領すべく年後職の権へ議籍

全工場は県園を吐いて徹野操作、 の日の水揚げ一日で二十萬樓、 大群が押し上せ温大油沖に集ま

時頃遂に絶命した、原因は同女は

勝急手當を施したが、十日午後五 指導具合を開催したが出売者は三 学中を家人が發見近ちに整師を迎へ一十一時から組合事物室で各窓塔の 氏を挑戦した中を家人が發見近ちに整師を迎へ一十一時から組合事物室で各窓塔の 氏を挑戦した

愛人と愛の旗を唇んでゐたが近頃

ものらしい(意識は自殺した余月) 男心に秋風が立つたのを悲観した

【仁川】國民精神作興與開第六日

仁川から四人

高齡者慰安會

して上四九十七歳を同院献金した一数里に機能・競技権・彫念金一千歳、 旋城層内にあり、漁大消沖を中心 一面つ機の大瀬で漁港から市中に S演獣の賠担げ場に担け切れず ほくほくものである。十九日 美江漁館組合には売る十四日年前「深の高館者助安育に府では左の四「獲得員ごを作の改及指導を行うた金 指土 郷 艮 會 【永岡】 | 目に8た8十一月十二日南橋香福 | に買り張得すが呼頭に立ち郷報

沖には鰛漁船が雲集

清津のため大いに祝福した

さいべりや丸船長らの話

丈餘の斷崖から身を躍らした中隊長

その眞剣さ、旅團長も泣

しも肉弾あり

だが相場は下つて生ಟ三圓二十銭

日尹彪義郎是、宋忠義郡長らを一二面で神井、栗原、松本、尹敬後、は云ろ十一日正午から帰僧(永敬語)甘原京都道知事は二十一場の訓示を興へた後完義に赴き西(『永问』沃川昭置義技術員打合者 酒津のために大いに祝福したよの漁獲があるやうに見受けられ

ら菅内狀況報告を職収、職員に一

置素技術員會議

妓生の

服毒自殺

男心を恨んで

藤井本社特派員の

待望の國際ビル

部隊に変軍し山岳戦に成は一眸千里泥濘の【仁川】蜿蜒八百餘里に及ぶ北支戦柳〇〇 紅した原井本社特別員の「北支職職報告書 北支戰鬪報告 事變映畵《上映 六兩日仁川瓢館で

ふべく董井鞍御員の熱類は苦人の血を沸か、歌死断線とそは基章戦史上不能の文字とい 時、何三時の二回に亘つて開場、議院に賃 すであらう。廿五、廿六の雨日ともだ

モチもマル

の美しさも

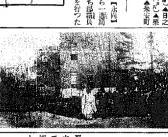
内地炭は四割高

取行業品が興意を開催 ・ 「地域中・講習を「「水門」状」から他は財政を配したかその店 では全るア九月午前十時、上小島、長の世界の関係があった。

いて関係を確認し、裁つて資料機の、を達プール、悪主服等を別認

スハ大事件! 沃川署の演習

Sいつて意気込んでゐましたの を記して今一度要線に出かける を記さは語る る二十日是逝した冒着電 が工事が教に参加中が中央



大膽な少女

主金を流む

強へ道内初度強敵の最後に強され **含した(製造は地域祭)** 岡本遊騰、桃商工育頭その他官公

川署員が結込んで連捕したか 内で金日政と表示者が必及政 M毎夜の如く花札にかけてみた 土幕で賭博

岩不明となつたが開展府内に関 11一十日午後六時均無職家田 索里一七||企性の蛇並直換("o") が の 家田 | 「開坡」 平墳座 あるらしいといふので父親か

川川

な

9

お

・シネマト 漫劇 水井府尹開遊倉 ホンノニ アストリンゼンを使ふ!歐米婦人は化粧前に必ず

滴でお化粧 それは何故?

化 ()

ノ水粧化切蹋新の果効重

生態れしたが整十七日午前十時 安全干願(一)一假名―は去る十

りと落ちます。それにこの場特の総合実容成分が低つ場特の総合実容成分が低つ場所していぬへる趣

リームで「サギルれをすると、限つてみる間にお確か、 現実」と、教生しく教が、お願の売れる心味と表流ない「服徒」が報告が、お願の売れる心味と表流ない「服徒」が表出数米線人の間でなんに海げしてみます。 第一・ご 人間数で、お屋本部
グリンシン・クリームを活動が開始です。 とのたけて先輩・教皇・ジスの歌呼用によって毛穴 大調教で乗りました。 (単島水・ちいらぬきを) とるたけて先輩・教皇・とのたけて先輩・教皇・とのたけて先輩・教皇・とのたけて先輩・教皇・とのたけて先輩・教皇・とのたけて先輩・教皇・とのたけて先輩・教皇・とのたけて先輩・教皇・とのたけて先輩・教皇・とのよりに対している。

クリンシンとは

る る 用作重三の下粧化・容美

な

違

睡眠美容で最近流行の



卿下に設けた。愛國箱

受調がを備へて生態が節約した様子人野が耐難発展を潜る姿況の勇体製以来校内にく無甘の愛國郎や一千本をつくつたが、さらに腱心の 全校を擧げての愛國氣分

日百十三回

針はお互て

困る兒童を救つて名を語らず

そツと獻金した少女

日の丸辨當で献金の女學生

歸順を申出て雜役に

研酒

| 海泉色の豚を纏び紙や手を選馬に | 郷縁と名付ける支那 兵の一 石家班にて 宮田本社特派員 わが軍に支那兵

安んぞ知らんや

戦争の匂ひもな

に味は

な實感

異樣に映る.女軍出征

しかし上海は上海であつた

旗香油 ボマート

鬚部隊の鬚隊長

花柳病專門

告に限り幹にを選にて複数す 特別料会は前納の事件常経度 列五十封建名は一国場に五十 五統活学十五学館一個五行~

※ 百日条内

は 注其 空車 高級アペート政権為 京政府後の町五丁目一五町 「助数量投前町子市町一丁」

京原市市 又は代除生物用 市の表古に接面機 1971年 京原市立金町三水場町通り

| 我れ勝てり | 我れ 戦へり クロダ歯科

蟇口が十三箇

處女の分娩

同町一四八洪浮泉方風女金砂町

辛 3.50点

バイロット的放展本筆 日本趣味初係返用軸

今長②五九五七番·振替京城一四五七一番·張茂草 ゴム引萬年軍手朝鮮約代理店旅印度東 正 手 代衣 エ 場場 京城府黄金町七丁目四番川

月墨窓を出て駐客に送り田一十六のといる杆成額類りを

大體成績はよろし

スセ幹に

1113

會式株類滷和昭

大学 (大) では、 大) では、 大)

本人衆院ありたし 新文場情代条項店 新文場所がリーノ四 島等が成 でありたし 大学所がリーノ四 島等が代

足の御用命は弊所へ

是非軍手、軍足が第一

島同胞三千名を乗せて

或は北方〜護送中

一本印入

わた天英員

綿

场工定指省都法 社會式採集實際

天使絹綿

銃後にペンを抑ふ 聯線に劍を循ひ

品質保證=價格低廉 (定項ョリ五分引)

●各地博覧會品評會に於て數回受賞

今回に限り特價提供

絹織物出張販賣 康 刑 務

場所 京城府本町二丁目九七 (居族)

場所 京城府本町二丁目九七(原城市) 陳列會開會日時 十月二十三日ヨア 二日間 京 染 流 行

